

平成20年度第5回太田地域協議会会議録

◆日時：平成21年3月6日（金）午後2時00分～

◆会場：太田文化プラザ「多目的ホール」

◆協議

- (1) 太田地域振興計画について
 - (2) 平成21年度地域枠予算執行計画について
 - (3) 平成21年度当初予算（案）について
 - (4) 行政区（集落・町内）現況調査等について
 - (5) その他
-

◆出席した委員の氏名

出席委員 12人

大信田康雄、草礪太郎、倉田良子、小松一男、小松 誠、鈴木弘之、鷹觜信行、
田口誠毅、野中シゲ子、福原榮司、藤澤由希子、藤原鈴司

欠席委員 4人

伊藤昭子、大信田弘喜、加藤 進、泉 澄彦

◆職員

大信田 哲 男（太田総合支所長）
高 貝 忠 造（市民課長）
鈴 木 成 人（農林振興課長）
佐々木ジョージ（建設課長）
熊 谷 和 則（教育委員会太田分室長）
高 橋 共 男（地域振興課長）
高 貝 清 一（地域振興課参事）
熊 谷 憲 一（地域振興課主事）

（午後2時00分開会）

○高橋共男地域振興課長（以下「地域振興課長」と表記）

それではただいまから、平成20年度第5回太田地域協議会を開会いたします。本日の協議会は、委員の2分の1以上が出席しておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第9条第3項の規定によりまして成立したことを報告いたします。

それでは開会にあたり大信田副会長からご挨拶をお願いいたします。

○大信田康雄副会長（以下「副会長」と表記）

委員の皆さんにはお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。本日は、加藤会長が欠席のため、私が代わりに協議会の進行をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日は、これまで行ってきたワークショップでの意見等をまとめた太田地域振興計画の素案、それから平成 21 年度の地域枠予算執行計画と当初予算について、事務局から説明していただくこととなっております。委員の皆さんからの積極的なご意見をよろしくお願いいたします。

○地域振興課長

ありがとうございました。次に大信田太田総合支所長が委員の皆さまにご挨拶申し上げます。

○大信田哲男太田総合支所長（以下「支所長」と表記）

2月27日から3月18日まで3月定例議会が開会されております。27日冒頭の市長の施政方針演説をご紹介させていただき、挨拶に代えさせていただきたいと思えます。現在、国保診療所は先生1人で頑張っていただいておりますが、4月から新たに2人の内科医を迎えまして、3人体制で診療できることになりました。我々も大変喜んでおりまして、近隣市町村や、新聞を見ますと医師不足に悩んでいる中で、太田に2人もの若い先生が来ていただくことは、頭の下がる思いと言いますか、お礼を申し上げているところでございます。

それから、秋田県は全国の中でも子育てに対して財政的援助をしておりますが、とりわけ大仙市はさらにその上をいっていると思っております。市長は、県の補助が打ち切られても継続していきたいと話しております。子育て世代の方々には非常に力になっているのではないかと考えております。また、市長が出生率についてもおっしゃっていましたが、17年度が1.42、18年度は1.56、19年度が1.58と微増ですが毎年上昇しています。

また、定額給付金について議会初日に審議・議決していただきました。1人12,000円、65歳以上の方と18歳未満の方は20,000円となっているのはご存知かと思いますが、大仙市では、総額14億4,736万円が給付されることになっております。太田については、1億1,451万6千円でございます。地域活性化のためにも有効に活用していただきたいと思えます。

26日が最後の地域協議会となりますが、副市長が参加する予定となっております。それに向けましても、今日の協議会でのご審議をよろしくお願いいたします。

○地域振興課長

それでは協議事項に入ります。進行は副会長にお願いします。

○会長

協議に入ります前に、会議録署名委員を私から指名させていただきます。鷹嘴委員と野中委員によろしくお願いします。

それでは協議に入ります。初めに太田地域振興計画について、事務局から説明願います。

(配布資料に基づき、事務局が説明)

○副会長

ありがとうございました。みなさん何かご意見等はありませんか。

○藤原鈴司委員（以下「藤原委員」と表記）

今資料を見たので具体的な細かいことは言えませんが、非常に立派に良くできていると思います。ただ、この中で気になったのが計画推進プログラム中の計画目標年次、計画期間ですが、ほとんどが5、6年、中には10年かかるものがあるようですが、あくまでも実施に至る前の計画にかかる時間というとらえ方でしょうか。

○地域振興課長

1年でできるもの、2年から3年かかるものそれぞれありますが、実施も含めた年数という考え方で書いております。検証をするなど色々なアプローチの仕方があるということでこのような期間設定をしております。

○藤原委員（以下「藤原委員」と表記）

そうすれば、調査や計画が順調に進めば6年と書かれているところでも2年で計画できて実施に移せるということですね。わかりました。

○地域振興課長

お詫びですが、本来であれば事前に委員の皆さんへお渡しして目を通していただくべきですが、皆さんからいただいた意見をもとに、職員が協議する場を4回ほど設けました。なかなか日程調整がつかず、突然このような形になってしまい大変申し訳ありませんが、ご理解をお願いいたします。

○小松一男（以下「小松委員」と表記）

藤原委員に関連して、今年度はこれとこれをやりましたという報告は年度末にあるものでしょうか。

○地域振興課長

大仙市の実施計画と同様に報告あるいはローリングが必要ではなかろうかと思っております。

○倉田良子委員（以下「倉田委員」と表記）

私たちがワークショップを何回かやって出した意見を職員の皆さんからまとめてもらい、さらに検討、作成していただいております。私たちが出した意見を細かく分けていただいたので、これはこの分野なんだなというのが、はっきり見えてきました。

具体的に何をどうするのか、緊急性があるのは何なのかをわかりやすく行動計画として示していただけて見えてきたので、職員の皆さんが本当に一生懸命考えられて工夫されているなどと思い、大変ありがたかったです。

○副会長

次に、平成21年度地域枠予算執行計画について、事務局から説明をお願いします。

（資料（地域枠予算運用のガイドライン、地域枠予算事業計画（案））に基づき、事務局が説明）

○副会長

ありがとうございました。何かご意見はありませんか。

○鈴木弘之委員（以下「鈴木委員」と表記）

地域づくり講座等実施事業についてですが、大仙市出身者を講師に迎えての講演等ということでしょうか。

○地域振興課長

大仙市あるいは太田地域出身者に限ったことではありません。

○小松 誠委員（以下「小松委員」と表記）

ガイドラインができて、なおかつこの平成21年度の地域枠予算事業を見ていくと、地域枠予算はこのような形にして使いなさいと示されたような気がしますが、どのようにお考えでしょうか。

○地域振興課長

地域枠予算は平成18年度に始まった予算ですが、ようやくまとめたなと思っております。委員の方々には、従前から地域の活性化のために使うものだと説明しておりますし、それに沿ってこれまで執行してきました。これまで執行してきた事業を考えみた場合、このガイドラインから外れているようなものがないので、今回作成されたガイドラインは特別縛りがかかっているようなものではないと考えておりますがいかがでしょうか。

○小松委員

ガイドラインがあることによって、管理するというか職員の皆さんはやりやすくなると思います。しかし「これはガイドラインに沿ってないのでやれない」という風に、

言い方が悪いかもしれませんが逃げられるような気がします。言いたいことは、ガイドラインがあるのはわかるが、協議会の中でこれはどうしても地域枠予算でやらなければいけないというときは、どうか委員の皆さんからも賛同してもらってやっていきたいなと思っているところです。

○倉田委員

集落内環境等整備事業とありますが、自分の地区で直さなければいけないというところが何で、どのくらいあるのかいつも漠然としているような気がします。きちんと会館も直されているし、ゴミ集積場もきちんとされているし……。川口溪谷が通行止めになっていてオブ山の杉を見に行くことができなくなっていますが、それがいくらかでも解除できるようにこの予算を使った方がいいのではないかと思います。地域で動くことが、市や県が動いてくれるきっかけになるのではないかと思います。

それから地域づくり活動団体補助金について、上限が30万円というふうにガイドラインに書かれていますが、有効に活用できるように、例えばこの地域協議会の中であそここの地区はこういったことが課題なんじゃないか、じゃあそれをその地区の人たちに気づかせてあげよう、そしてこの補助金を有効に活用してもらって地域づくりが発展していくという、このような取り組みはできないものかと思ったりもしました。

太田地域のどこをどうすればもっとこの地域が元気になるのかという源を見つけるためにも、この協議会でこのまちを見直すということも必要なのではないかなと思っただけで話してみました。

○地域振興課長

地域枠予算については、このガイドラインに書かれているわけですが、最初は地域課題等緊急の場合には執行してくださいという考え方でした。しかし、徐々に予算執行の方向が変わってきたということ、それから地域振興計画ができあがったのでそれに基づいて予算を執行していくということが必要ではないかと思っております。

地域枠予算を満額執行するというのも必要だと思いますが、地域枠予算執行計画と今日皆さんにお示した地域振興計画にのっかって検討を重ねながら、期間がかかるものもあるかと思いますが、計画の実現に向かっていきたいなと思っております。

○藤原委員

地域枠予算事業の中で私の偏見かもしれませんが、とらえ方が広いというかアバウトな感じがします。ただ、その中で立教大学野球部夏季合宿だけピンポイントで名前が入っているのが気になります。反対ということではありません。地域でも行政でも立教大学の夏季合宿に力を入れているのはわかります。太田地域には立派なクラブハウスも体育館もあるので、立教大学だけではなく、他の学校や実業団などの合宿を誘致するぐらいの考えをもった方がいいような気がします。実際に合宿しているのは立教大学だけではなくて、小学生も中学生も高校生も来ています。ですので、話の広がりをもっと持たせたほうがいいと思います。

○倉田委員

クラブハウスはしっかりした安全な建物でしょうか。子どもたちが合宿したりして
いますし、時々心配になることがあります。どうでしょうか。

○地域振興課長

クラブハウスは、現在太田町生活リゾート（株）が指定管理者として管理・運営し
ています。合宿等については、指定管理者が募集等を行っています。教育委員会が主
管課となっておりますので説明させます。

○熊谷和則教育委員会太田分室長（以下「分室長」と表記）

建物については問題ありませんが、給湯施設については老朽化が著しいため昨年修
繕しています。悪い場所はその都度修繕等、対応しています。

○副会長

それでは、次に平成 21 年度当初予算（案）について説明をお願いします。

（配布資料に基づき、各課長等が説明）

○副会長

ご説明いただきましたが何かご質問やご意見ありませんか。

○鈴木委員

中里温泉のことですが、先日イベントの際に中里温泉の宿泊券が当たった方がおり
ました。その方がこれだけはいらなかったというようなことを言っていました。ちょ
っと人気がないようなので、利用している方々の声を聞きながら運営していただき
たいと思いました。ここで言うべきことではなかったかもしれませんが。

コミュニティバスのことですが、できないかもしれませんが、子どもたちの送迎は
できないものかなと思います。朝は集団登校ですが、一人で帰ったりしている子ども
もおりますので、そのようなことを思ったりもしました。

それから、診療所に 2 人の先生が来てくださるということで大変うれしく思ってお
りますが、在宅医療をしますだとか、このようなことをしますよというように積極的
に PR をしてほしいなと思います。

○地域振興課長

中里温泉は日帰り入湯や宴会など、利用者が増えております。中にはそのように思
われる方ももちろんいらっしゃると思います。宿泊については、他と比較すると劣る
ということは十分承知しております。改築計画等もありますが、なかなかそこまでい
かないというのが現状です。

バスのことについてですが、乗る方が少なくいためデマンド方式のタクシーへの移
行などということも考えなくてはいけないなと思っております。運行については、陸
運局の許可をもらっておりますので、安易にやることは難しいですし、また莫大な経

費がかかると思いますが、検討していきたいと思えます。

○田口誠毅委員（以下「田口委員」と表記）

診療所についてですが、私個人の考え方として、医療というものは進んで行けば行くほど赤字になるものだと思います。これを無理に黒字にしようとしていろいろ削ってしまえば、医療が充実しなくなると思えます。先生が2人来るようですので、まずは医療体制整備をして、赤字の方はその後に考えていただきたいと思えます。安易に赤字削減に走れば色々な支障も出てくると思えますので、そのようによろしく願います。

○藤原委員

教育委員会予算について、ことごとく予算が減らされていますが、これぐらい減らされてもやっていけるというかやっていく意気込みはありますよね。

○分室長

適切な説明になるかわかりませんが、全て11%減となっています。これは教育委員会だけではなく全てにおいてです。そのため、このような予算を組まざるを得なかったという状況です。平成21年度だけが11%減なのではなく、合併後10%減、20%減だったりします。この範囲内で工夫をしながら実施していかなければならないというのが現状であります。

○藤原委員

下げ止まりはありそうですか。毎年毎年カットされて事業自体がなくなってしまうのではというような心配もありますが、いかがでしょうか。

○地域振興課長

民間の方が参加されている補助金等の検討委員会がありますが、その中で個々の事業について検討され減額になったという場合もあります。今年度でその検討委員会は終了となりますが、一般財源等の増減によって何%かのカットはあり得ると思えます。しかし、聖域なくカットされているわけではありませぬので、ご理解いただきたいと思えます。

○副会長

予算を全然減らさないでほしいということではありませぬが、地域協議会としては、太田の地域性・特性を伸ばすためにも頑張っていたきたいと思えます。

それでは、次に行政区（集落・町内）現況調査等について事務局から説明を願います。

（配布資料に基づき、事務局が説明）

○副会長

以上をもちまして、本日の協議会を終了いたします。長時間お疲れさまでした。

会議録署名委員
